

令和6年度山口県日本型直接支払推進協議会会長賞決定

7月25日(木)、県土連ビル4階役員会議室において、令和6年度会長賞選考委員会を開催し、慎重な選考が行われた結果、会長賞は「八方原の環境を守る会(山口市)」(多面的機能支払交付金部門)及び「豊浦町中山間集落協定(下関市)」(中山間地域等直接支払交付金部門)に決定しました。

受賞された活動組織及び集落協定は、令和6年11月11日(月)に開催される「令和6年度農村環境の未来を考える研修会 vol.16」において表彰されます。

多面的機能支払交付金部門

活動組織名 ^{やかたばら} ^{かんきょう} ^{まも} ^{かい} 八方原の環境を守る会(山口市)

<組織の概要>

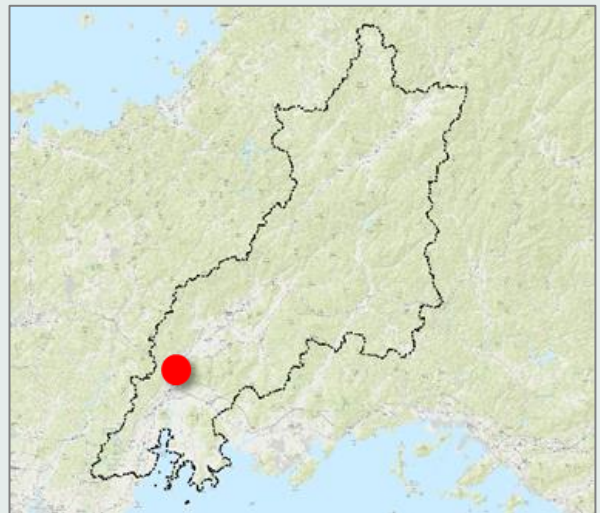
- ①認定農用地面積 田: 27.7 ha 畑: 0.7 ha
- ②資源量 開水路: 7.1 km、農道: 3.5 km
- ③構成員 農業者: 26戸、農業者以外: 2戸
農事組合法人等団体: 4団体

当活動組織は山口市南西部(旧小郡町)に位置し、農業者をはじめ農事組合法人や営農生産組合、そして自治会や老人会など農業者以外の団体を含めた地域ぐるみの保全活動に取り組んでいます。

毎年、農地の保全管理や農業用施設の維持管理及び補修などに取り組み、農用地・水路・農道などの地域資源を守っています。また、「農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化」として地元の小学生を対象に田植えや稲刈り体験を実施し、農業への関心を深める活動を行っています。「啓発普及活動」として設立開始から広報誌を毎月発行し、地域内の非農家や事業所を含む自治会全戸に配布を行い、活動内容を積極的にPRしています。



小学生への田植え体験

毎月発行している広報誌
「やかたばら環境通信」

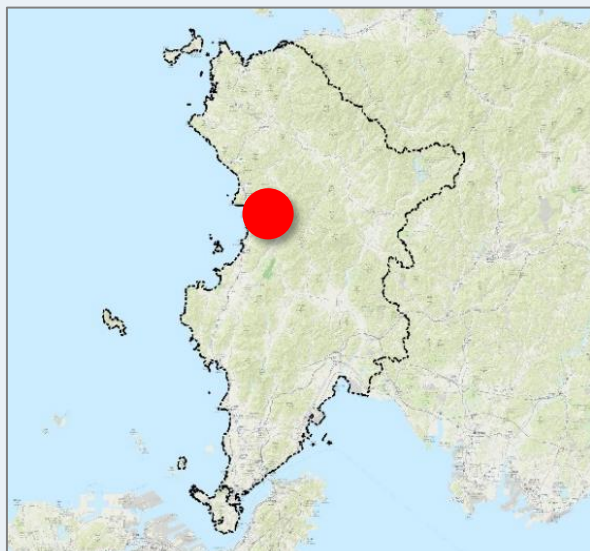
集落協定名 とよらちょうちゅうさんかんしゅうらくきょうてい 豊浦町中山間集落協定（下関市）

<協定の概要>

- ①認定農用地面積 田：177.16 ha
- ②協定参加者 農業者：159人
農業者以外：36人

当集落協定は下関市西部（旧豊浦町）に位置し、川棚川を中心に豊かな水田が広がる地域で7集落から構成された広域連携協定です。

県内でも初の取り組みである、土地改良区への事務委託により事務処理の軽減がなされています。併せて広域連携協定の枠組みの中で、集落間の密な活動連携を図ることが可能となりました。また広域連携協定の強みを活かし、ドローンの共同利用を実施するとともに、オペレーターの育成や共同防除に向けた体制整備にも力を入れています。



ドローンの共同利用



話し合いの様子

～開催のお知らせ～
令和6年度 農村環境の未来を
考える研修会（vol.16）

令和6年度は下記により開催する計画としておりますのでお知らせします。

日時：令和6年11月11日（月）
13時30分～16時（受付12時30分～）
場所：KDDI 維新ホール メインホール
（山口市小郡令和1丁目1番1号）



熱中症に注意を！

夏の長時間の活動は熱中症になる危険性が高まります。

単独行動はできるだけ避け、こまめな休憩と水分補給を行いましょう！

